

# 直 播 情 報

JA能美

第 3 号

令和元年6月17日

## 分けつの発生は順調 中干しのスタートは遅れずに。

### ◆◇◆ 生育状況 ◆◇◆

5月中旬以降、平年よりも気温が高く推移していたため、分けつの発生が進んでいます。生育状況からみて、中干しの時期に入っています。過剰分けつを抑えるためにも、中干しの開始は遅れないように注意しましょう。

表 6月10日の生育状況

播種方法	地点	品種	草丈 (cm)	茎数/m <sup>2</sup>
V溝	能美市福岡	コシヒカリ	26.1	355
湛水	カルパー	能美市福岡	25.0	254
	鉄	川北町上田子島	25.4	297

### ◆◇◆ 今後の管理 ◆◇◆

1 V溝不耕起直播栽培は、収穫直前まで水を切らさないように管理しましょう。

2 湛水直播栽培(点播、条播)は、中干し、溝切りを実施しましょう。

- ① 中干し開始の目安は「1m<sup>2</sup>あたり茎数が280本」または「条1mあたり茎数80~90本」です。
- ② 3日程度田干しを行って、土を硬め、3~5mに1本程度の割合で溝切りを実施しましょう。また、水がスムーズに流れるように各溝の連結部分をつなぎましょう。

中干し 期 間	6/12~7/9頃まで
------------	-------------

効果

溝を切ることで、田に高低差があっても排水や入水が容易にできるようになります。中干しの効果が上がり、中干し後から刈取り直前までの通水がスムーズに行えます。

3 葉いもちの発生に注意してください。

葉いもちの発生は、稲の生育ステージには関係なく、温度や湿度等の気象条件により発生します。遅れないようにオリゼメート1キロ粒剤を散布しましょう。

また、病斑が確認された場合は、直ちにブラシン粉剤DLを散布してください。

	散布時期	薬剤名	使用量/10a
予防剤として(基幹防除)	6月中旬まで	オリゼメート1キロ粒剤	1kg
治療剤として	いもち病発生時	ブラシン粉剤DL	4kg

4 珪酸分の施用により稲体の健全化を図りましょう。

肥料名	施用時期	施用量/10a
珪酸加里プレミア	6月下旬~7月上旬	30~40kg

## 5 雑草対策

薬剤名	草種	使用時期	使用量
ヒエクリーン 1キロ粒剤	ノビエ4葉以下	イネ3葉期～ノビエ4葉期 (ただし、収穫45日前まで)	1kg/10a
クリンチャー 1キロ粒剤	ノビエ3葉以下	播種後10日～ノビエ3葉まで (ただし、収穫30日前まで)	1kg/10a
	ノビエ3～4葉	播種後25日～ノビエ4葉まで (ただし、収穫30日前まで)	1.5kg/10a
クリンチャーEW	ノビエ5葉以下	播種後10日～ノビエ5葉まで (ただし、収穫30日前まで)	展着剤を加用して落水散布 100mL/10a (希釈水量25～100L)
サンパンチ 1キロ粒剤	ノビエ3.5葉 マツバイ、ホムイ	イネ3葉期～ノビエ3.5葉期まで (ただし、収穫60日前まで)	1kg/10a
バサグラン粒剤	水田一年生雑草 (イネ科を除く)	イネ3葉期～入水50日後 (ただし、収穫60日前まで)	3kg/10a
バサグラン液剤	水田一年生雑草 (イネ科を除く)	播種後35日～50日まで (ただし、収穫50日前まで)	落水散布 500～700mL/10a (希釈水量70～100L)
クリンチャーバス ME液剤	ノビエ・広葉雑草	播種後10日～ノビエ5葉まで (ただし、収穫50日前まで)	落水散布 1000mL/10a (希釈水量70～100L)
ワイドアタックSC	ノビエ・広葉雑草	イネ3葉期からノビエ5葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	落水散布 100mL/10a (希釈水量100L)

※ 除草剤などの農薬を使用する際は、ラベルをよく読み使用方法を必ず守ってください。

※ 農薬には、「農薬自体の使用回数」と、「その農薬が含む有効成分の総使用回数」があり、そのどちらの回数も超えて使用することはできません。(例えば、1回目にオサキニ1キロ粒剤、2回目にトップガンGT1キロ粒剤を使用した場合は、ヒエクリーンは使用できません。)

## 6 カメムシ生息密度の低減

斑点米の発生原因となるカメムシの生息数が、近年増加しています。

6月中にカメムシ類の生息地である畦畔や水田周辺の雑草地の除草を徹底して下さい。

なお、除草は7月10日までとし、その後は原則として収穫時期まで除草は行わないよう留意してください。(やむをえず雑草処理をする場合は、基幹防除直前に行ってください。)

また、水田畦畔や用水路の法面等で刈り倒した雑草が河川に流れ込まないように注意してください。